

先進施設視察研修

社会福祉法人 友愛会 ワークセンターさくら

〒979-1100 福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央 540 番地

(避難先住所：〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町 2120 番地 2)

独立行政法人 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園 園内)

助成事業の概要

・就労継続支援 A 型の事業所 4 か所の研修で、コロニーエンタープライズは年間約 130,000,000 円の活動収入、利用者平均給与約 100,000 円、定員 40 名で地場産業である手延べそうめんの製造を主体に、そうめん・うどん・ラーメン・ちゃんぽんの製造で、1 日の生産量は約 1t です。又、毎年新商品を考え製品化している。独自のノウハウにより特徴のある個性豊かなオリジナル製品として評価も高く、一般企業に負けない努力をしています。ブルースカイは年間約 100,000,000 円の活動収入、利用者平均給与約 100,000 円、定員 15 名でグループホーム・通勤寮・単身などで生活されている方に夕食、朝食を届けるディナーサービスと、各事業所やそれぞれの活動場所に届ける昼食弁当配達サービス、市から委託を受け、1 人暮らしの高齢者宅へ安否確認を兼ねた配食サービスを行ない、又、障がい者の就労の場として役割を担っています。1 日に 700 食の弁当を作っており、弁当を始めるきっかけは、自分たちの給食作りから始まったそうです。瑞宝太鼓は年間約 100,000,000 円の活動収入、利用者平均給与約 110,000 円、定員 10 名で知的障がい者職業訓練施設のクラブ活動から始まり、本人たちのプロになりたいという希望で事業を始め、現在全国各地に太鼓の公演（学校・イベント・コンサート）、太鼓の指導（養護学校・障がい者グループ）ボランティア（少年院）の活動を行なっています。味彩花は年間約 200,000,000 円の活動収入、利用者平均給与約

88,000 円、定員 20 名でグループホーム・ケアホーム・宿泊型自立訓練施設・職業訓練施設などで生活されている方に夕食、翌日の朝食を届けるディナーサービスと、各事業所やそれぞれの日中活動場所に届ける昼食の弁当配達サービスを行ない、得意な仕事でお客さまに喜ばれる食事サービスを目指し取り組んでいます。又、1 日に 1,200 食の弁当を作っています。

事業の成果

・まず初めに、当法人の所在地は東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の警戒避難区域 20 キロ圏内の為、現在、群馬県での避難生活を余儀なくされている中、この先進施設視察研修を実施させて頂いたこと誠にありがとうございます。

今回の研修のテーマとして (1) 企業として通用する製品（商品）づくりへの取り組み。(2) 本人（障害）の特性を生かした職業的自立を目指すための取り組みや仕事をする事により誇り、意欲、志を高める環境作り。(3) 安心して働ける環境作りへの取り組み。(4) 販路の拡大への取り組みの 4 つを掲げ研修を行ない、まず働くための 3 要素の土台として生活（基本的な生活習慣、健康管理等）、次に職業（仕事への責任、休まず出勤、集中力等）、余暇（趣味を持つ、買物等）があり、この 3 要素をバランスよく形成することで息の長い職場定着につながる。新商品の開発も季節ごとに行ない、地域別・年代別に専任した意見を活かした商品づくりを行う。地域の社会資源（企業、

農家等)を活用し実際の訓練が効果的で、実際に就職する場で活動することは、就職後に向けた予行演習になると共に、本人の意欲(こういう場所で働きたい)を引き出すことにもつながる。一般雇用にあたっては、ジョブコーチ(職場適応援助者)の活用が有効になり、就職後のアフターフォローや一般事業所と本人の間に立って様々な障壁も解消できる。試行的な雇用であるトライアル雇用と合わせることで障がい者の就労を進める上で大きな力となる。又、ジョブトレーナーという仕組みを設け、就労継続支援B型のグループ実習(施設外就労)先の専属の支援員として、仕事のコーディネートや福祉的支援を行うことで、重い障がいの方も地域の中で働くことが可能になる。

障がいのある人のニーズの変化、その取り囲む環境もまた時間と共に変化し、社会情勢が変わり、支援してくれる人が変わり常に動いている。そういう中で、情報のアンテナを張り巡らせ対応することが求められ、考えさせられる。今回の研修をとおして貴事業所の職員一人ひとりの意識の高さ、意気込みのようなものがヒシヒシと伝わってくるのが感じられました。自分もできる事から一歩ずつ進んでいけるよう努力し、今後の利用者処遇等に役立てていきたいと考えております。最後に利用者さんの笑顔が印象的で、特に瑞宝太鼓を演奏して頂いた皆さんの演奏している時の生き生きとした顔が心に残っています。

今後の展開

・避難生活ではあるが、まず就労継続支援B型の事業の充実(作業内容、工賃の回復(震災前))を図り、研修で得た具体的な内容を盛り込んだ企業の戦略を打ち切り、以前取り組んでいた商品の再開や独自のノウハウにより特徴のある個性豊かなオリジナル製品の開発、作業工程、新たな販路拡大(営業戦略)に努め、このような取り組み

を戦略的に実践し続けることで、当施設が目標とする就労継続支援A型事業所に移行することができるものと考えている。